

教育目標「ふるさとを愛し、心豊かに、挑戦し続ける生徒の育成」

新温泉町立夢が丘中学校
令和5年11月28日(火)

熱誠

第8号



～授業参観日・PTA親子人権学習会「たんたん落語」～ 11月16日(木)

「特別の教科道徳」の授業参観の後、「落語」をとおして親子で人権学習を行いました。「小話合戦」では、生徒や職員も登場し会場を大いに盛り上げ、みんなで“温かい笑い”を満喫しました。

【生徒の感想】 みんなで笑えるということは幸せなことだと思った。今、世界では笑うことができない子どもたちがいる。戦争や紛争で学校にさえ行くことができない人もいる。自分たちは学校に行き、このように楽しい時間を過ごすことができたのに・・・(1年生) 笑顔があると辛いことも飛んでいく。笑顔を大切にすることをもちたい(2年生) 落語はみんなで気持ちよく笑うことができ、その場の雰囲気を良くし、笑顔で包み込む大きな力を持っていると感じた(3年生)



講師の春歌亭丹馬さんと“小話合戦”

～3年生ふるさと学習「浜坂探訪」～

11月6日(月)

昨年度に続き、浜坂地域で班別調べ学習を行いました。新たな発見や視野の広がりにより、改めてふるさとの魅力を実感したと思います。



【訪問場所】 加藤文太郎記念図書館・以命停・ユートピア浜坂・山陰海岸ジオパーク館・浜坂駅・浜坂漁港・松籟庵・西光寺・あじわら小径・浜坂サンビーチ・宇都野神社

あじわら小径で 山陰海岸ジオパーク館で

～2年生「トライやる」アクション～

11月14日(火)

2年生が地域(湯区)の清掃・草取りボランティアに取り組みました。薬師湯と薬師堂周辺



薬師堂周辺の掃き掃除



薬師湯周辺の空き缶拾い



薬師堂下公園の草取り

を中心に、落ち葉掃きや草取り・草刈り、空き缶拾いなどを行いました。「トライやる」アクションは、「トライやる・ウィーク」で培った力を、地域と協力しながら地域の行事や活動に活かす取組です。

～吹奏楽部「もみじコンサート」に出演～



荒湯天狗まつり(7/22)

11月18日(土)に夢ホールで開催された「もみじコンサート」に吹奏楽部が出演しました。3年生にとっては最後の演奏となりましたが、自分たちの出演後も会場に残って他の出演者の演奏に手拍子を送り、「コンサート全体を大いに盛り上げてくれた。大変嬉しかった」と主催者も喜んでくれました。吹奏楽部は本校唯一の文化部として、コンクール・コンテストや文化祭での演奏だけでなく、「荒湯天狗まつり」での演奏など地域行事にも貢献しています。

＝＝＝＝ 12月の主な行事予定＝＝＝＝

1日(金) 期末考査3日目 冬季バス通学開始(～2/29)	18日(月) 期末個別懇談会①
2日(土) 世界農業遺産認定記念シンポジウム (夢が丘中3年生参加)	19日(火) 期末個別懇談会②
6日(水) 1・3年生文化芸術による 子ども育成推進事業	20日(水) 期末個別懇談会③
13日(水) 生徒会球技大会	22日(金) 2学期終業式
	23日(土) 冬季休業日(～1月8日)
	24日(日) 但馬地区アンサンブルコンテスト
	29日(金) 学校閉庁日(～1月3日)

～美術・作文・科学作品の主な表彰～

令和5年度但馬造形教育展

特選 2年 大西倭愛さん「森の掟」 長野遥華さん「いばらの首飾りとハチドリ自画像」
入選 2年 大谷夏央さん「神奈川沖浪裏」

第42回全国中学生人権作文コンテスト

【兵庫県大会】最優秀賞(5編) 3年 川元桃花さん 「知るということ」
奨励賞(25編) 3年 長谷川葉帆さん「誰かの支えになりたい」

令和5年度「税についての作文」

豊岡税務署長賞 3年 熊木佑希子さん「豊かな暮らしのために」
豊岡納税貯蓄組合連合会会長賞 3年 西村陸希さん「ハードルを越えるために」

第67回日本学生科学賞兵庫県コンクール

佳作 2年 山本一楓さん 「ダンゴムシの交替性転向反応の限界について」

「3年生「サイエンス・トライやる」～ 11月10日(金)

理科分野のスペシャリストが特別授業を行う県教育委員会の事業で、本校での授業は、かがく教育研究所研究員を講師とした、「実験を通してながら電磁石やモーターの仕組み」を学ぶものでした。【生徒の感想より】授業を通して、小学校や中学校の学習内容の復習ができました。普段できないような実験を5つもできて、とても楽しかったです。自分は理科が苦手だけど、作品を見たり、実験をしたり、お話を聞くうちに科学の面白さを感じとても興味を持ちました。



～新温泉町恒久平和祈念式「平和の集い」～ 11月11日(土)

3年生の西村雪希さんが、「平和が当たり前の世界に」と題して平和祈念作文を発表しました。小学生の頃に原爆ドームを訪れたときの貴重な体験や、現在も世界で起きている戦争・紛争について調べたことをもとに、「戦争の愚かさ・平和の尊さ」について堂々とした態度で発表しました。自ら平和への行動を誓うとともに、これからの時代を背負う同じ若者たちへの力強いメッセージでした。



～3年生「但馬牛の魅力体験しよう」「但馬のステーキもんから未来を考える」～ 11月16日・20日



16日(木)に二人の畜産農家の方を講師にお招きし、実際に但馬牛も見せていただきながら、世界に誇る飼育技術や飼育者の思いについて直接お話を聞きました。また、20日(月)には、但馬牛博物館、JAたじま「肉の店」、Iターンの畜産農家、道の駅「浜坂の郷」、町議会、町役場からも講師をお招きし、「但馬牛から行政・産業・経済・未来を考える」班別学習を行いました。成果は12月2日(土)のシンポジウムで発表します。

「よしふく5号」を前に